



CHIYOMATSU 増田千代松展

— 仙人画家が描くノスタルジーな世界 —

The world which is the nostalgia
Chiyomatsu draws

2021年
3月20日(土) - 5月30日(日)

【開館時間】9:00~17:00 (入館は16:30まで)

【休館日】月曜日 (月曜日が祝休日のときは翌平日が休館)

【入館料】一般: 500円(400円)、高校・大学生: 300円(250円)、小・中学生: 150円(100円)

※()は20名以上団体割引料金

※幼児・障害者手帳をお持ちの方(介助者1名を含む)は無料

【主催】洲本市立淡路文化史料館

※ご来館の際は、感染症対策のためマスクの着用、検温、ご連絡先の提供にご協力をお願いします。

 洲本市立 淡路文化史料館
AWAJISHIMA MUSEUM

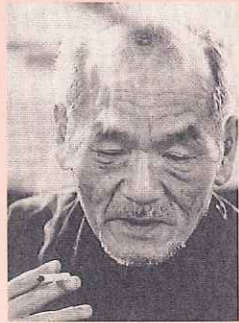


左:《牡丹と蝶》 右:《銀鷄図》

下:《白椿小禽》部分

CHIYOMATSU 増田千代松展

— 仙人画家が描くノスタルジックな世界 —



増田千代松
(1901~1978)

増田千代松は、明治34年、福良（現・南あわじ市）に生まれました。大正14年、京都絵画専門学校（現・京都市立芸術大学）を卒業後、上京して当時の日本画壇の巨匠、平福百穂ひらふくひくすいの門下生となります。帝展に9回入選しましたが、昭和8年、師・百穂が急死し、その後、ふるさと淡路へ帰り、中央の展覧会へは一切出品せず、淡路島内のあちらこちらに居をうつして、ただひたすら絵画ひとすじの生活を送りました。生涯妻帯せず、金も持たず、家も持たず、昭和53年、77歳でその人生の幕を下ろしました。

本展では、平穏で美しい日本の風景を描き続けた千代松の生誕120年を記念して、花卉鳥獸画を中心に、スケッチや愛用の道具など約25点を展示します。



《きつねりんどう》



《イトヨリ之図》



《石楠花に小禽》



《たぬき図》部分

おまちしています!

《通年講座》

毎週日曜日 銅鐸銅鏡铸造体験

どうたくどうきょうちゅうぞうたいけん

毎週日曜日に铸造体験を開催しています。
かわいいミニ銅鐸・銅鏡を作ってみませんか?

開催日 / 毎週日曜日

時間 / 10:00開始

定員 / 5名程度

対象 / 小学生以上(小学3年生以下は保護者同伴)

体験料 / 銅鐸1,600円(中学生以下は1,100円)

銅鏡1,100円(中学生以下は800円)

(銅鐸仕上げ高さ約7cm・銅鏡仕上げ直径約5cm)

持ち物 / 軍手

お申込み方法 / 前日までに電話予約をしてください

《併設》

3階 直原玉青記念美術館

じきはらぎょくせいぎねんびじゅつかん

3階直原玉青記念美術館では今年の干支「丑」にちなみ直原画伯入魂の作品「四牛図」をはじめ他多数の作品を展示中です。この機会に是非ご覧ください。



- 【バス】・大阪駅・梅田駅より高速バス約120分
・三ノ宮駅より高速バス約80分
・舞子駅より高速バス約60分
・徳島駅より高速バス約75分
・洲本バスセンター下車、徒歩約10分

- 【お車】・神戸淡路鳴門自動車道洲本ICより約15分
・淡路島中央スマートICより約15分
・駐車場無料

